

同居家族の方が新型コロナウイルス感染症に感染した場合

☆ 家庭内でできる 8 つの対策 ☆

陽性者の方へ

ご自身が過ごす部屋からであるとき、同居の方と会話するとき、トイレや浴室など共用スペースに入るときは、その前に必ず手洗い、またはアルコール消毒を行いマスクをつけましょう。

お世話をする方や同居家族の方について

ご自身の体調にも注意してください

- ・陽性の方の発症日を0日として、特に5日間は注意してください。7日目までは発症する可能性があります。
- ・外出するときは人混みを避け、高齢者等のハイリスク者との接触を控えるなど、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。
- ・陽性の方のお世話する人は、できるだけ限られた方にしましょう。
- ・体調が悪くなった場合の登校・出勤については、学校・職場に確認しましょう。

① マスク着用・こまめに手を洗う

日中はできるだけ換気

原則 新型コロナウイルスの感染は、ウイルスを含む飛沫が口、鼻や眼などの粘膜に触れること、または、ウイルスがついた手指で口、鼻や眼の粘膜に触ることで起こります。

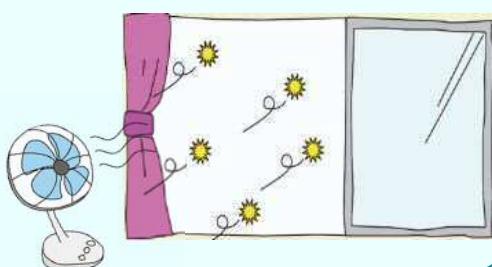
☞ 陽性者・家族は、こまめに石鹼を用いた手洗いもしくはアルコール消毒をしましょう。

・季節を問わず、新型コロナウイルス対策には、こまめな換気が重要です。一般家庭でも、常時換気扇を運転し、最小限の換気量を確保しましょう。

☞ 室温を大きく変動させることなく、換気を行うことができます。

<窓開けによる換気のコツ>

窓開けによる換気は、対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的な換気ができます。また、窓が1つかない場合は、部屋のドアを開けて、扇風機などを窓の外に向けて設置しましょう。



② 部屋を可能な限り分ける

- ・部屋を分けることができない場合、少なくとも2m以上の距離を保ち、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。また、部屋で距離が取れない場合は頭を逆で寝るなどしましょう。



③ 手が触れる共用部分を消毒する

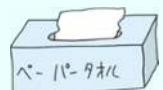
- ・手が触れる部分の拭き取りを毎回しましょう。
汚染が広がらないように一方向に拭く
(70%以上アルコール・0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム)



洗面の蛇口・ドアノブ・タオル・歯磨き粉に注意しましょう

- 飛ばさない
-
- ・歯磨き粉は、専用としましょう。
・歯ブラシは個別に保管する。または、距離をとりましょう。
・歯磨きでの口すすぎは、洗面台周囲へ飛散しないようにしましょう。
-
-
-
- 飛ばさない

☞ タオルは使いまわさず、個人専用にするかペーパータオルを使用しましょう。



④食事

・陽性者とは一緒に食べないか、別室で食べましょう。できない場合は時間差でとる・距離をとりましょう。（黙食）

☞料理は大皿を避け、個別に盛り付けましょう

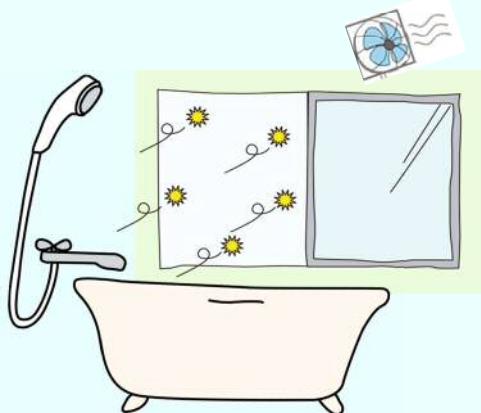
・食器は、食器用洗剤で洗浄してください。
食洗機の使用は可能です。



⑥浴室清掃と入浴中の注意

☞陽性者の方が入浴する場合は、最後に入浴しましょう。（換気をして）

・本人が清掃できる場合は、入浴後に浴室内をシャワーで洗い流し、その後ふろ用洗剤を用いて清掃しましょう。窓を開け、常時換気をしましょう。



⑧ゴミは密閉して捨てる

・鼻をかんだティッシュなどにもウイルスがついています。同居者が触ると感染する可能性があるので、すぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは袋の口を縛り密閉して捨てましょう。

☞陽性者の方以外の家族は使い捨て手袋を使うなど直接手が触れないように扱いましょう。
直接触れた場合は、石鹼を用いた手洗い、もしくはアルコール消毒をしましょう。



換気・手洗い・マスク

⑤トイレ

・トイレは別々に使うのが好ましく、2つあれば1つを陽性者専用としましょう。

・トイレは蓋を閉めてから流しましょう。

☞可能であれば陽性者の方は、ご自身で便座やドアノブ、レバーなど自分が触れた場所を消毒しましょう。

・消毒は噴霧ではなく、ふき取りをしましょう。

・トイレを共用する場合は、**常時換気**をしっかりしましょう。



⑦衣服の洗濯

☞一般的な洗濯用洗剤で、洗濯機を使用して洗い、完全に乾かしましょう。

・洗濯物は、一緒に洗濯は可能です。ただし、汚染した洗濯物が洗濯機の外側に触れないようを入れましょう。

・陽性者以外の家族が洗濯物を触る場合は、使い捨て手袋を使い**直接手が触れないように扱いましょう。**



・直接洗濯物に触れた場合は、石鹼を用いた手洗い、もしくはアルコール消毒をしましょう。